

【別表第2】

事務事業の見直し等における主なもの

行革事項名	見直し内容	節減額 (概算：千円)	室課名
事務事業の 廃止・縮小等	<p>・診療材料調達・搬送業務の見直し</p> <p>これまで、内部職員が実施していた診療材料の調達・搬送業務を専門業者に委託し、診療材料の調達・搬送・消費・在庫管理等の管理業務を一元化することで、安定した院内供給体制を確立するとともに、診療材料の購入・搬送経費や人件費等の節減を図る。</p>	156,623	中央 病院
	<p>・回線使用契約の見直し</p> <p>警察総合情報管理システム等の回線使用契約を見直すことにより、安定的な運用を維持しつつ、経費を節減する。</p>	8,224	警 察 本 部
	<p>・口座振替案内書の送付業務の廃止</p> <p>これまで、富山県から口座振替による支払いをした場合には「口座振替案内書」を郵便はがきで送付していたが、これを廃止し、預金通帳に「振込日・支払所属名・金額」を印字することで、発送にかかる経費を節減する。</p>	5,800	出納課
	<p>・広報の方法等の見直し</p> <p>広報の方法や報告書等の作成部数・形態を見直すことにより経費の節減を図る。</p>	2,810	関 係 各 課
	<p>・情報リテラシー研修の見直し</p> <p>これまで、外部委託により実施していた研修を職員が講師を務めることで経費の節減を図る。</p>	1,288	情報政 策 課

行革事項名	見直し内容	節減額 (概算：千円)	室課名
事務事業の 廃止・縮小等	<p>・ <b>気軽にエコライフアクト事業の廃止</b></p> <p>県内プロスポーツ団体と連携し、リユースカップのモデル導入を行う本事業については、リユースカップの利用に対する県民の理解や意識向上が進むとともに、スポーツ団体の自主的なマイカップ利用も定着し、事業目的を達成したことから廃止する。</p>	714	環境政策課
補助金の 廃止・縮小等	<p>・ <b>エコドライブ講習受講費補助事業の廃止</b></p> <p>平成22年度に事業所ぐるみのエコドライブ実践を促進するため、事業者による自発的なエコドライブ講習の受講に対して助成してきたが、受講者が100名を超えるなどエコドライブ講習が周知されるとともに、受講費用が低下したことから、補助金を廃止する。</p>	1,000	環境保全課
	<p>・ <b>とやまの「旬」と「鮮」供給拡大モデル事業費補助金の廃止</b></p> <p>平成20年度より3年間、地場野菜等の安定供給と環境にやさしい「通いコンテナ」（反復利用可能なプラスチック容器）の整備による新たな流通モデルを構築する取り組みに対して助成してきたが、モデル実証による一定の成果が確認できたことから、今後は市場等流通関係者に主体的な役割を委ねることとし、補助金を廃止する。</p>	1,000	農産食品課
その他	<p>・ <b>ESCO事業の導入【再掲】</b></p> <p>ESCO事業者が平成22年度に設置した高効率機器を活用して、平成23年4月からエネルギー使用量の削減及び光熱費等の節減を図る。</p>	34,918	中央病院